

史 交 外 村 小
下

權 有
版 所

定 価 600 円

昭和二十八年二月二十日 印刷
昭和二十八年二月二十五日 発行

外 務 省 編 纂
外 務 省 蔵 版

発 行 人
東京都千代田区飯田町二丁目七番地
米 田 圓

印 刷 人
東京都千代田区麹町五丁目二番地
杉 田 弥 太 郎

印 刷 所
東京都千代田区麹町五丁目二番地
杉田屋印刷株式会社

発 売 所

東京都港区芝田村町一丁目二番地
日 産 館 内

紅 谷 書 店

電話銀座 (57) 五一〇九
内線 四四九

外務省編纂

刊一 近一

日本外交文書

第二十七卷 第一冊・第二冊

(明治二十七年一月—十二月)

目次

外務省蔵版「大日本外交文書」の刊行は第九卷を以て中絶して居りましたが、戦後新たな構想の下に「日本外交文書」として続刊、ここに日清戦争期に到達しました。周知の如く本書は外務省所蔵記録を慶応四年以降逐年別に編纂刊行してきたもので外交史上、近代日本史研究上貴重な根本史料であります。

一、条約改正ニ関スル件 二、新条約締結ニ関スル件 三、臘虎臘貍獸保護条約加盟一件 四、法規関係雑件 五、輸入酒精營業稅賦課ニ関シ仏独公使抗議 六、朝鮮国借款関係雑纂 七、朝鮮国亡命者勸静 八、朝鮮国内政改革(其一)——以上第一冊—— 九、朝鮮国内政改革(其二) 朝鮮国出兵ニ関シ清国並ニ朝鮮国ト交渉 一〇、出兵ニ関シ列国ト交渉 一一、朝鮮国宮室討問使派遣並日鮮盟約 一二、軍艦浪速高陞号撃沈 一三、日清戦争ノ際上海仁川各国居留地局外中立交渉 一四、日清戦争ノ際米國政府両国各在留民保護担保 一五、商船捕獲免除日清間交渉 一六、日清戦争列国調停 一七、清国使節來朝 一八、日清戦争関係雑件 一九、樺太へ本邦人出稼 二〇、ガテマラ国へ本邦人出稼、附移民保護規則制定 二一、濠洲ニ於テ本邦移民制限 二二、布哇国革命——以上第二冊——

(戦後既刊) 日本外交文書第十卷——二六卷・条約改正関係日本外交文書第四卷・會議錄・同別冊・条約改正經過概要・通商条約と通商政策の變遷・近代陰陽曆对照表 (続刊) 日本外交文書第二八卷以下——条約改正関係日本外交文書追補

(發行所 東京・千代田区丸ノ内二ノ十二・日本國際連合協會・電丸ノ内四六六四)